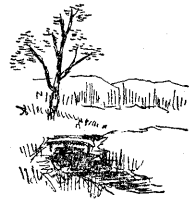


韓国幼稚園教育の発達

韓国幼稚園教育の発達を、初創期・一九二〇年代より一九四五
年まで、独立後現在の三期にわけて考察してみることになります。

初創期

韓国々内に、幼稚園という名称をもった幼児教育機関がはじめて
設立されたのは、一八九七年のことでした。しかし、これは日
本人子女だけのために立てられた幼稚園で、当時釜山府西町とい
うところに「朝鮮真言婦人会」によって「釜山幼稚園」が開園さ
れました。韓日合併条約（一九一〇年）締結以前のそのころ、す
でに相当数の日本人が韓国内に進出していました。一八九七年とい
えば明治三十年にあたり、日本国内では全国半数以上の都道府県
が、幼稚園設立に着手していた時期であります。ついで一九〇〇



李 相 琴

年には、仁川とソウルにも日本人子女のための公立幼稚園が新設
されました。

韓国人子女のための幼稚園は、一九〇九年現在の北韓にある羅
南に、仏教教壇によって立てられたものがありました。教師は
日本人でした。一九一三年京城府仁寺洞に、韓国人白寅基氏が創
立した京城幼稚園は、韓国人子女だけを受け入れ、ただちに一二
〇名の園児が入園したとことです。まだ交通が不便であった当
時、園児たちは使用人につきせわれ人力車に乗って登園したとい
います。保育料も一ヵ月二円五〇銭という相当な高額だったの
で、園児の家庭は富裕階層であったことが推察されます。しか
しこの京城幼稚園は、日本人教師が主導する立場で、韓国人教師と
一緒に保育にあたったのでした。そのころすでに日本人幼稚園が

教カ所開設されて幼児教育の必要性が認識されつつあったので、韓国内の進歩的で富裕な家庭では、韓国女子のためにも幼稚園が設立されることを願っていたことと思います。

にもかかわらず、翌年の一九一四年に梨花学堂（梨花女子大学の前身）でアメリカのシンシナティ大学で幼児教育を専攻したブラウンリ（Blownlee 韓国名・富来雲）という宣教師と韓国人教師によってひらかれた梨花幼稚園には、わずか一六名の園児が入園しました。ということは、今こそ韓国にキリスト教が広く普及されていますが、当時はキリスト教宣教に対する抵抗感が強く、西洋人に対して非常に警戒的であり、一般に洋鬼とよび異端視していたことにも起因します。ブラウンリが主導した梨花幼稚園での幼児教育は、進歩的であり、児童の活動中心・生活中心の教育が実施されました。

一九一五年には、同梨花学堂に幼稚師範科という、幼稚園教師養成機関が設立されました。これは韓国最初の幼稚園教師教育機関であり、ここからの卒業生が、韓国幼稚園教育の発達に大きな影響を及ぼしたことはいうまでもありません。

ブラウンリはヒル（Patty Smith Hill）の著書 *Conduct Curriculum for the Kindergarten and First Grade* を、韓国人教師と共訳して「活動に基づいた児童教育法」という名で出版し、幼稚師範科

の教科書に使用しました。また一方「遊戯唱歌集」「子供の樂園」等多くの編著を出し、韓国における進歩的幼児教育におおいに貢献しました。

韓国の幼稚園は、公立が無く私立だけです。そのうち、プロテスタント系四三・二%、カソリック系二四・六%（一九七二年現在）で、キリスト教幼稚園がほぼ七〇%をしめています。梨花幼稚園がキリスト教幼稚園として設立された最初の幼稚園であり、同時に幼稚園教師を養成したので、梨花の幼児教育が実践した進歩的教育は広く普及されることになりました。

このあと、大部分がキリスト教幼稚園ですが、伝統ある幼稚園がぞくぞく設立されることになりました。

一九二〇年代より一九四五年まで

一九一九年のいわゆる三・一独立万才運動のあと、日本政府は植民地強硬政策から緩和政策への転換を明らかにしました。幼稚園教育にも、一九二二年総督府令として、小学校令のなかに幼稚園規定が公布され、韓国幼児教育に対する関心を示したのです。

参考までに附記しますと、以前は初等教育も中等教育も年限・教育内容において日本のそれより一段と低めたものでしたが、この時期以後年限では日本国内とのバランスを考慮することになった

のです。が、教育内容ではなお約一年ほどのひらきをもったものでした。

当時公布された幼稚園規定内容は、一八九九年に日本で設定された、小学校令幼稚園教育及設備規定とほぼ同一なものであり、この法令は一九四五年戦争が終わり植民地解放になるまで、韓国の幼稚園を規定する唯一の法的根拠となりました。日本国内では、その後、小学校令の範囲内ではありましたが、法改正を重ね幼稚園教育の発達をはかったのに比べて、韓国では申しわけのたただ一度の公布で終わったのでした。

保育内容は前述幼稚園規定により遊戯・唱歌・談話・手技を扱いました。この点でも日本では後に観察科目を追加したのに、韓国ではなんらの変化も指示もありませんでした。

前にも述べましたように、韓国幼稚園教育の発達は私立にのみ依存してきました。それでも一九二〇年代になって、幼稚園がどんどん新設され、特にキリスト教幼稚園の数は著しく増加しました。

この一九二〇年代には、教師養成機関として、中央保育（現中央大学の前身）と、崇義保育（現崇義女子初級大学の前身）が開校され、一方京城保育（日本系）も開校し、まさに韓国幼稚園教育の発展期ともいえる時代でした。その後一九三〇年代後半期

まではずっと全国的に幼稚園は普及されたものでした。日本人幼稚園はおもに公立幼稚園が設立されましたが、韓国人幼稚園は私立であるので、保育料負担が重くなり一般家庭の子女が幼稚園教育を受けることは難しかったのです。ごく少数の韓国人が日本人幼稚園に行くこともありましたが、韓国幼稚園教育はその初期から相当な水準以上の階層の子女を対象として発展していきました。

一九三八年ごろから総督府による干渉がきびしくなり、多くの幼稚園は閉園され、戦時には託児所となり、終戦時まで幼稚園の減少が余儀なくされ、四カ校あった保育学校も閉校することになったのです。

独立後より現在

一九四五年の終戦を植民地時代の解放のよるこびで迎えた韓国は、教育面の発展に驚くほどの進歩をとげました。たまたま一九五〇年の韓国動乱によって挫折され、いまだにその傷あとが残っていますが、教育の再建には政府も国民も非常な努力をしたものです。一〇〇に近い小学校の就学率はもちろん、中等教育は制度的には義務化されていないにもかかわらず、高い進学率を表現しています。大学の多い国としても有名です。しかし、それにも

かかわらず韓国の幼稚園教育は教育界の孤児といわれています。量的にも大いに増加したとはいえませんが、人口増加率もそれほどやはり高くなっていますので、韓国で幼稚園教育をうける幼児はごく限られた数です。国家的な支援はもちろんどんな公的な配慮もうけられず、今なお私立の設立と運営に依存している現状です。

さいわいなことには最近世界的な幼児教育ブームののって、教育学者・心理学者・社会学者間で幼児教育の重要性と必要性を認めるようになり、いろいろな研究と事業がなされつつあります。韓国教育界の焦点が、幼児教育にしばられる日も遠くないのではないかと期待されています。

量的な面ではまだまだのところですが、韓国の幼稚園教育の質は、相当の水準に達しています。韓国最初の幼稚園教師教育機関である梨花女子大学校で、ブラウンリによっていちちはやく進歩的
教育と児童尊重思想がとり入れられ、その後も海外の新しい理論や方法を広く吸収しつつ、質的な発展を続けてきました。

日本植民地時代も小学校以上の教育には非常にきびしい干渉があったにもかかわらず、幼稚園はずっとまじなほうだったので
す。したがって幼稚園では人間性尊重の精神が生存しうることができたし、また比較的のびのびしたふんいきを保つこともできま

した。

現在も文教部令の幼稚園令によって、設置基準令とか教育課程令とかの規程はありますが、どの段階の学校教育よりも、自由な教育をしているところが幼稚園だといえます。現在の幼稚園令が規定した教育内容は、健康・社会・自然・言語・芸能の五領域ですが、各幼稚園はそれぞれの設立理念と、独自の教育目標を適用させて幼児教育にはげんでいます。

幼稚園教師は梨花女子大学校で一九五一年以来四年制正規課程で養成しており、中央大学校でも、四年制課程を終えた幼稚園教師を出しています。このほか日本の短大にあたる初級大学（二年制）と、専門学校（二年制）制度があります。

韓国では幼稚園教師は保母という名称でなく教師とよびます。保健社会部管理で設立運営される「子供の家」（日本の保育所に相当）の保育者は保母とよばれます。この「子供の家」については枚数に限りがあるので言及できませんが、最近著しく発展し、すでにその量において幼稚園数をりょうがしています。

韓国の幼稚園の発達はその初期よりいろいろな問題をほらみ、遅々として、とてもにぶい発達曲線をたどっていますが、今後の発展に大きな期待をかけています。

（梨花女子大学校教授、現在聖和女子大学研究員として滞在中）